

雑司が谷未来遺産推進協議会シンポジウム

風情ある雑司ヶ谷における観光と生活の接点を考える

2019年 1月 22日 (火)
18:30~20:30

国指定重要文化財
場所:自由学園明日館 講堂
(豊島区西池袋2-31-3)

気持ちよく歩ける道づくりに向けた雑司ヶ谷の道の未来について、重要文化財の自由学園明日館講堂にてディスカッションします。

一雑司ヶ谷は、歴史文化資源が豊富に存在し、住環境も豊かな豊島区全体を見渡しても、区のまちづくり戦略上大変貴重なエリアです。閑静な住環境を尊重しつつ、歴史文化資源の活用を進めることが求められますが、今回の話し合いが、楽しくクリエイティブな取組になることを期待しています。— (小泉秀樹)

パネリスト (五十音順)

- 近江正典 (感光山法明寺住職)
- 片山伸也 (日本女子大学准教授)
- 小泉秀樹 (東京大学大学院教授)
- 呉祐一郎 (豊島区副区長)
- 柴田知彦 (目白まちづくり倶楽部)
- 田中伸 (鬼子母神大門櫓並木保存会会長)
- 松岡昭男 (雑司が谷一丁目町会長)
- 葉袋奈美子 (日本女子大学教授)

- [定員] 200名
- [料金] 入場無料
- [申込] 当日直接会場へ(予約不要)
- [問合せ] 雑司が谷未来遺産推進協議会事務局
03-3981-4732 (平日 9:00~17:00)
- [主催] 雑司が谷未来遺産推進協議会
- [共催] 日本女子大学 葉袋研究室
- [協賛] 自由学園明日館



※鬼子母神堂の「鬼」の字は、正しくは1画目の角(ツノ)のつかない鬼の字を用います。



「雑司が谷がやがや」プロジェクト
～歴史と文化のまちづくり～

国土地理院の基盤地図情報より作成
河高由代(東京研究所)

雑司ヶ谷の道の未来を考えよう

★明日館へ鬼子母神★
時代の違う建物を繋ぐルート



バリアフリーが課題

歩道にフェンスがあり、
1人しか歩けない



★池袋駅への方向を間違える人が多い★
駅から雑司ヶ谷への案内が欲しい

★路地★
のぞいちゃいけないから、
のぞきたくなる
観光地化は違う



花を植えて地域住民の憩いの場に

★小学校周り★
住民でも迷いやすい
法性化した
“おくの道”と繋げたい

★保育園から下り坂にかけて★
道の意外な繋がり、回遊性が面白い



★学校・旧水道局・警察が並ぶ★
歩きやすい
自転車が通りやすい

★赤丸菓の坂道★
歩いていて面白い
自転車で繋ぐよくなるのが楽しい



★“おくの道”★
古い家が残っており、趣がある

路地にカメラマンが多い
通り抜けられないから不審者が少ない

住む人を大事に文化を守ることが一番

マンホールで誘導する

11/8, 29に、
雑司ヶ谷にお住まいのみなさんと、
雑司ヶ谷の道の未来を考える
ワークショップを行いました！

ワークショップの結果はシンポジウムでお示します！

